

資料2-2

島本町保健福祉計画及び介護保険事業計画策定に係るアンケート調査結果報告書（案）

島本町保健福祉計画及び介護保険事業計画策定に係るアンケート調査につきましては、次の条件で実施いたしました。

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	
調査期間	令和2年2月17日～3月13日
調査方法	郵送による配布・回収
調査対象	65歳以上で、要介護認定を受けていない人または要支援認定を受けている人
対象者数	1,000人（未認定者800人、要支援者200人）

在宅介護実態調査	
調査期間	令和2年2月17日～3月13日
調査方法	郵送による配布・回収
調査対象	要支援・要介護認定を受けている人で、在宅でサービスを受けている人
対象者数	300人（要支援者150人、要介護者150人）

調査期間及び調査方法については、どちらの調査も同じ期間・方法で実施しております。また、調査対象者については、完全無作為抽出の場合、要支援者10人、未認定者990人など極端にわかれかねないことから

ニーズ調査は「未認定者 800 人、要支援者 200 人」、実態調査は「要支援者 150 人、要介護者 150 人」と、あらかじめ階層を分割して実施する層化不作為抽出と呼ばれる手法で実施しております。

調査項目につきましては、国が定める基本調査項目とオプション項目の全項目及び独自項目を設定しております。

また、調査結果では性別や年齢などの基本項目とそのほかの質問をかけた合わせて集計するクロス集計で分析しており、集計結果の上位 2 項目を網掛けにしております。

それでは、資料 2 - 2 をご確認ください。まずは「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の独自項目等について説明いたします。

70 ページをご確認ください。「(1) あなたは、町内各地で実施されている『いきいき百歳体操』、『かみかみ百歳体操』をご存じですか」についてです。「知っているが、参加したことはない」という回答が、性別、年齢別、未認定者・要支援者いずれにおいても最も多くなりました。

続きまして、74 ページをご確認ください。「(4) 介護予防や健康づくりに関する情報を何から得ていますか」についてです。未認定者は「テレビ」が 76.2 %で最も多く、次いで「新聞」が 56.3%、「広報しまもと」が 31.0%となっています。要支援者は「テレビ」が 70.4%で最も多く、

次いで「新聞」が44.4%、「病院・薬局など医療機関」が32.6%となっています。

続きまして、76ページをご確認ください。「(5)健康に良い栄養のバランスを重視した食事について関心はありますか」についてです。「ある」が86.7%で、「ない」が8.2%となっています。

続きまして、78ページをご確認ください。「(1)あなたは、高齢者の総合相談窓口である『地域包括支援センター』をご存じですか」についてです。「知っている」と答えた方が50.4%という結果になっており、前回調査から5.6ポイント増加しています。

続きまして、83ページをご確認ください。「(6)興味・関心のあることは何ですか」についてです。未認定者は「旅行」が51.2%で最も多く、次いで「運動」が46.8%、「料理」が39.4%となっています。要支援者は「料理」が36.3%で最も多く、次いで「ガーデニング、野菜づくり」が31.1%、「運動」が28.1%となっています。

続きまして、90ページ以降の各種リスク判定ですが、未認定者85歳以上の方について、運動器の機能低下リスク、閉じこもり傾向、認知機能の低下リスク、知的能動性低下リスク及び社会的役割低下リスクに前回調査と比較して、増加傾向が見られます。

次に、108 ページからの「在宅介護実態調査」についてです。

主な項目について説明いたします。

113 ページをご覧ください。「問1 世帯類型について、ご回答ください」についてです。「単身世帯」が 37.6%、「夫婦のみ世帯」29.4%、「その他」32.0%となっており、人口規模5万人未満の他類似団体との比較で島本町の単身世帯割合は15ポイント程度、夫婦のみ世帯は8ポイント程度高くなっております。

115 ページをご覧ください。「問2 現時点での施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください」についてです。

「入所・入居は検討していない」73.7%は、他類似団体と比較し、2ポイント高く、「検討中」15.5%は2.4ポイント低くなっております。

続きまして、119 ページをご確認ください。「問4 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか」についてです。「利用している」と答えた方が75.3%で、「利用していない」と答えた方が21.6%となっております。また、120 ページの「問5 介護サービスを利用していない理由は何ですか」では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」と答えた方が、50.0%を占め、現状ではサービスが必要ではないが、要介護認定を受けている方が多いこと

がわかります。

続きまして、125 ページをご確認ください。「問7 今後の在宅生活の継続に必要と感じるサービスについて」です。「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が34.5%、「外出同行（通院、買い物など）」が22.7%、「掃除・洗濯」が20.1%となっており、他類似団体と同様の傾向となっておりますが、本町は、「見守り、声かけ」がやや少ない傾向にあります。

続きまして、129 ページをご確認ください。「問8 あなたは、町内各地で実施されている「いきいき百歳体操」、「かみかみ百歳体操」をご存じですか」についてです。「知っているが、参加したことはない」という回答が最も多くなっています。

続きまして、131 ページをご確認ください。「問9 あなたは、現在、訪問診療を利用していますか」についてです。「利用していない」が86.1%で他団体と同様の傾向となっております。

続きまして、137 ページをご確認ください。「問14 あなたは、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る『認知症サポーター』をご存じですか」についてです。「知らない」と答えた方が72.2%と最も多く、まだまだ認知されていないという結果になります。

続きまして、141 ページをご確認ください。「問18 あなたは、寝たきりなどの重度の介護が必要になった時、どこで暮らしたいと思いますか」についてです。「介護サービスを利用して自宅や親族宅などで暮らす」が45.4%で最も多く、次いで「介護施設」が37.1%、「高齢者向けのケア付住宅」が8.2%となっております。

続きまして、156 ページをご確認ください。「B票 主な介護者の方について」の「問1 ご家族やご親族の中で、あて名ご本人の方の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか」についてです。「介護のために仕事を辞めた家族、親族はいない」が最も多くなっています。

続きまして、162 ページをご確認ください。「問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください」についてです。「60代」が29.2%で最も多くなっていますが、クロス集計では、夫婦のみの世帯では、70代、80代が大半を占めており、高齢者夫婦世帯の老々介護の実態が見て取れます。

続きまして、173 ページをご確認ください。「問7 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください」についてです。「働いていない」が57.7%で、他類似団体と比較し9.3ポイント高くなっております。

最後に176ページをご確認ください。「問10 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか」についてです。「問題はあるが、何とか続けていける」と「問題なく、続けていける」を合わせると76.2%となっており、他類似団体と比較し同傾向となっております。